



CLOVER



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No.11 令和7年2月発行

ご卒業おめでとうございます。

本日、無事に卒業式を迎えることができました。保護者のみなさまやお世話になった先生方に見送られて、本校を巣立っていくみなさんを見てみると、感慨深いものがあります。厳粛な卒業式の中に、12期生らしさもあり、思い出に残る式となりました。本当におめでとうございます。

私は「**情けは人の為ならず**」という言葉が好きです。誤った用法で使われることもありますが、本来は「人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、やがてはよい報いとなって自分にもどってくる」という意味です。「優しさの順送り」忘れないでいてほしいです。

1、2年生のみなさん、卒業式なんてまだまだ先のこと、と思っていませんか。まだまだ先のようで、でも、あっという間に時間は過ぎていきます。今日はもう2月28日。2月の最終日です。今年ももう6分の1が過ぎました。ということで、1、2生のみなさんにはこのことわざを贈ります。

「光陰矢の如し」光は「日」、陰は「月」のことで、光陰とは月日や年月の比喻表現です。矢の如しは「飛ぶ矢のように早い」ことを指しています。さらに「月日がたつのは非常に早く、放った矢のように一度過ぎたら二度と戻ってこない」という捉え方もできるので、「何もせずに無駄に毎日消費するのはやめよう」という戒めの意味も含んでいるとのこと。奥の深いことわざです。

ことわざシリーズの2月号となりました。

最後に～私の本棚～紹介です。

第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書とのこと。

ドラマ化もされたので、知っている人も多いと思います。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1冊1冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
11	1/20	宙わたる教室	伊与原 新
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		その気になれば何だってできる 私がしなければならぬことは、「その気になれる」環境を整えること	